



守 建 第 3 8 0 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

守山市長 山 田 亘 宏



今後の道路行政についての意見・提案の提出について (回答)

平成20年9月19日付け、国道企第37号でご依頼がありました調書につきまして、
別添のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

滋賀県守山市

道路には、国道、県道、市道などがあり、その名の通り、建設から管理までそれぞれが個々にルールを定め担当しているのが現状です。しかしながら、それらの道路はつながっており、市民は道路の管理者を意識せずに経路を選択し自由に走行している。道路行政は、すべての道路について、本来、計画の段階から管理までお互いの情報を共有したなかで、予算措置が配分されるべきであり、管轄が異なることにより、隣接道路で維持修繕に差異が見られるのは公平性に欠け、一般市民には理解しがたいものとする。こうしたことから、道路を一括管理する中間組織を設置し、道路計画から完成後の管理、交通量の予測や調査、それらに基づく改良、環境調査、用地買収のルールづくりを行い、国、県、市が負担金を支出していく方式を提案します。

この考え方は、占有者が同じ地域で、国道、県道、市道により占用料が異なっていることについても現在、不合理が見られるが、こうした組織を設置することで、問題が解消できるものとする。また、市民に対し、行政と市民の協働による道路管理を呼びかけているが、道路管理者が異なることで、運用が困難な場合があるが、組織を一本化することで、協働管理の進展が図れるものとする。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-2 地域の現状と抱える課題

滋賀県守山市

○現状

市域北部の琵琶湖岸に大型ショッピングセンター、ホテル群をはじめ菜の花、アジサイ、バラなどの集客施設を多く抱える本市においては、市外からの観光客が多く、土曜日や日曜日などには基幹道路で交通渋滞が生じている。

市内における市民の移動手段は、自動車の利用が中心となっていることから、朝夕の通勤時間帯には市内各所で交通渋滞が見られる。

地域の生活道路は、道路幅員の狭い所が多くあり、市民の日常生活上の利便や住環境を阻害するだけでなく、救急車・消防車など緊急車両の通行にも支障が生じており、防災面、避難面、住環境・衛生面の観点から改善が必要である。

親しみの持てる道路づくりを目指し、市民から道路の愛称を募集し、主な道路14路線に沿道の由緒に相応しい名称がつけられています。

○課題

道路は、都市の骨格を形成し、市民生活を支えるとともに産業の振興に不可欠なものであることから、将来の発展を見通し、総合的な交通体系の確立を図るため道路網の計画的な整備が必要である。

交通渋滞の解消のために道路の改良や交差点箇所の拡幅整備が必要である。また、歩道等の拡幅整備や交通安全施設の整備により、歩行者等の安全を確保していく必要がある。

身近な生活道路で幅員の狭い所については、利便性や安全性等を向上させるため、拡幅や改良などの整備が必要である。

国道477号や主要地方道(県道守山栗東線・近江八幡大津線、片岡栗東線など)の交通渋滞の解消を図るため、道路の拡幅や国道8号線のバイパス道路の整備が必要である。

身近な生活道路は、自動車や歩行者などの通行のための空間にとどまらず、ふれあいの場としての道路の機能や、周辺環境等を考慮した都市景観への配慮が求められている。

中心市街地内の幹線道路では、旧基準で整備された幅員内を自転車歩行者道として、自転車と歩行者が混在している。本市の中心市街地には、若い世代も多く居住し、ベビーカーも多く非常に危険な状況にある。

道路を拡幅し、十分な歩道、自転車道を整備することが難しいことから、現状の道路空間の再配分を行わなければならない。

②－２ 地域の目指すべき将来像

滋賀県守山市

道路は、都市の骨格を形成し、市民生活を支えるとともに産業の振興に不可欠なものであることから、将来の発展を見通し、総合的な交通体系の確立を図るため道路網の計画的な整備が必要である。

将来計画等を見据えた都市基盤の整備と安全で快適な住みよい都市環境の確保や渋滞緩和を図るため、都市計画街路の計画的な整備と守山市まちづくり市道整備計画に基づき計画的に市民生活を支える道路整備の推進を図っている。

また、安全で安心なまちづくりを図るため、守山市交通バリアフリー基本構想に基づき、県や公共交通機関等と協調して、バリアフリーの道づくりを進めるとともに通学路の安全対策に努めている。

本市の市街化区域の道路については、概ね道路網として整備が図れているが、広幅員の広域幹線道路について未整備が多く、早急な対応が望まれている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

滋賀県守山市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、利便性の向上	都市計画道路勝部吉身線	ＪＲ沿いの駅間において、民間開発に著しいものがあるが、バスなど公共交通機関が充足していなかったため、新規路線による利用者増が見込める。	
少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	市道勝部浮気線道路改良事業	駅周辺のバリアフリー化が図れるとともに街路樹の植え替えにより、良好な景観形成が図れる。	